

様式第 10

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
福山地域	福山市	平成 30 年度～令和 6 年度	平成 30 年度～令和 6 年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現 状 (平成28年度)	目 標 (令和7年度) A	実 績 (令和7年度) B	実績 /目標
排出量	事業系 総排出量	53,345 t	48,684 t	52,747 t 12.6%
	1 事業所当たりの排出量	2.39 t	2.12 t	2.54 t -55.8%
	生活系 総排出量	t	t	t %
	1 事業所当たりの排出量	kg/人	kg/人	kg/人 %
	合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t	t %
再生利用量	直接資源化量	t	t	t %
	総資源化量	70,266 t	33,112 t	24,177 t 120.8%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh
最終処分量	埋立最終処分量	t	t	t %

※目標未達成の指標のみを記載。
(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成28年度)	目 標 (令和7年度) A	実 績 (令和7年度) B	実績 /目標
総人口	469,499	457,300	449,999	—
公共下水道	汚水衛生処理人口	313,496	348,239	332,281 54.1%
	汚水衛生処理率	66.8 %	76.2%	73.8 % 74.5%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	2,194	2,160	1,266 2729.4%
	汚水衛生処理率	0.5 %	0.5 %	0.3 % —
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口			%
	汚水衛生処理率	%	%	%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	106,777	54,451	63,050 83.6%

※目標未達成の指標のみを記載。

2 目標が達成できなかった要因

【ごみ処理】

(排出量)

生活系ごみの排出量は目標達成したものの、事業系ごみの排出量は令和 7 年度実績が 52,747 t であり、平成 28 年度実績の 53,345 t よりは減少したものの、目標達成には至らなかった。

要因としては、平成 28 年度と比較して多量排出事業者が増加したことにより事業系ごみの排出量が押し上げられたことが考えられる。

(再生利用量)

総資源化量については、目標値 33,112 t に対し、実績が 24,177 t であり、目標値より 8,935 t 少なく、目標達成には至らなかった。

要因としては、燃やせるごみの固形燃料化の終了や、火災によるリサイクル工場の稼働停止、新聞や本・雑誌の電子化などを始めとするペーパーレス化、ビン・スチール缶の流通量の減少、高齢化等による集団回収量の減少が考えられる。

【生活排水処理】

汚水衛生未処理人口は、令和 7 年度の実績が 63,050 人であり、平成 28 年度の 106,777 人よりは減少したものの、目標達成には至らなかった。

要因としては、人口減少や高齢化等の社会情勢の変化により、みなし浄化槽やくみとりから浄化槽への転換などが伸び悩んだことが考えられる。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 令和 13 年度まで

【ごみ処理】

(排出量)

事業系ごみについては、多量排出事業者に対して、引き続き、一般廃棄物減量計画書の提出や立入調査を行う。その中で事業所でのごみ処理の現状を確認するとともに、ごみ減量やリサイクルの情報提供、必要がある場合は指導・助言を行う。

(再生利用量)

リデュース・リユースの周知、講座やイベント、フードドライブ等を実施するとともに、リサイクル促進に向け、回収品目追加の検討、市民が利用しやすい資源回収方法の検討等を実施する。また、プラスチック資源循環法に基づくプラスチック使用製品廃棄物の分別収集及び再商品化を令和 10 年度を目途に開始する。

【生活排水処理】

下水道や集落排水への接続を促すほか、みなし浄化槽及びくみとりから浄化槽への転換を進める。

(都道府県知事の所見)

【ごみ処理】

(排出量)

総排出量という大きな指標に関しては目標を達成しているため、引き続き排出量の減少につながる取り組みを進めていただきたい。

一方で、事業系ごみについては排出量が増加しているため、排出量削減に向けた一層の取り組みに努めていただきたい。

(再生利用量)

直接資源化量については、目標を達成しているため、引き続き取り組みを進めていただきたい。

一方で、総資源化量については、様々な要因が重なり、目標が未達となっているので、総資源化量の増加に向けた取り組みに努めていただきたい。

(最終処分量)

埋立最終処分量については、計画策定当初から減少し、目標も達成しているため、引き続き取り組みを進めていただきたい。

【生活排水処理】

目標は達成していないものの、未処理人口は改善している。

目標の未達は人口減少や高齢化等による影響も考えられるが、未処理の住民への周知等により未処理人口の減少に努めていただきたい。